

TKS REPORT

No. 36

第119期中間報告書 2024年3月1日 ▶ 2024年8月31日

株式会社 **東京衡機**
証券コード：7719



TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY



財務ハイライト

決算のポイント

✓ 試験機事業

- ・コロナ禍の影響が収まり、国内企業の景況感は上向きになり設備投資意欲にも回復の動きが見られ、オーダーメイドの試験機を中心に受注・引き合いは堅調に推移したものの、前年同期に好調であった標準的製品の売上が伸び悩むとともに大型案件の期ずれが生じ、売上高は前年同期を下回る
- ・中期3ヵ年経営計画の初年度である当期は「事業拡大のためのプラットフォーム作り」の期であり、デジタル化推進による業務の効率化等の先行投資を進めていることなどから、経費が増加し営業利益は前年同期を下回る

✓ エンジニアリング事業

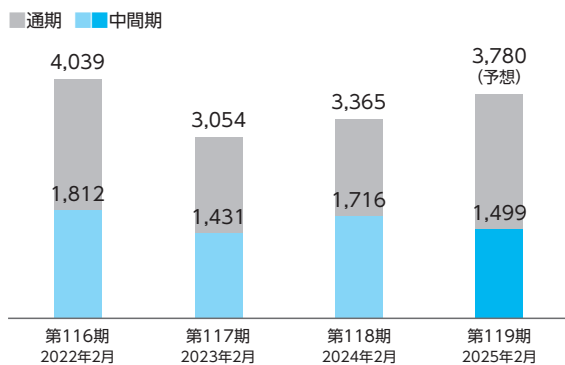
- ゆるみ止めナット・スプリングについて、引き続き高速道路や橋梁、エネルギー関係等の社会インフラ向けや国内建設市場向けに製品の浸透と市場シェアの拡大に努めた結果、公共工事や都市開発関係で使用するゆるみ止め製品の販売は堅調に推移したものの、前年同期に好調であったエネルギー関係向け製品の受注・売上が落ち込んだことなどから、売上高・営業利益ともに前年同期を下回る

✓ その他

- ・商事事業（事業撤退済）の販売先に対する未回収債権について、2024年3月から8月末までに未回収先から元金38百万円の回収を行ったことから、当該金額を特別利益に計上
- ・商事事業における会計不祥事に係る元取締役に対する損害賠償請求訴訟の費用ならびにエンジニアリング事業における外注先に対する製造委託料の水増し・キックバックを行った元取締役に対する訴訟準備費用等の訴訟関連費用22百万円が発生したことから、当該費用を特別損失に計上

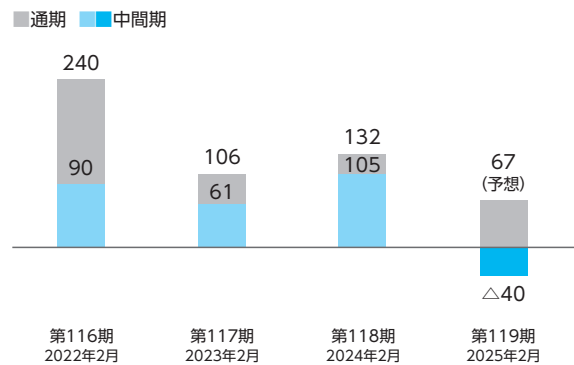
売上高

(百万円)



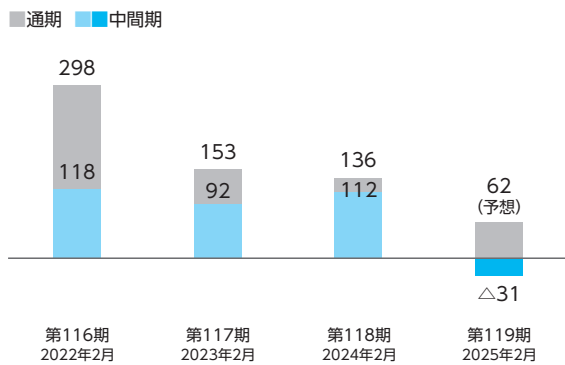
営業利益

(百万円)



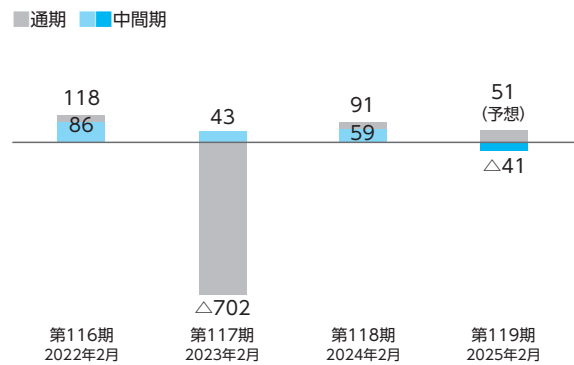
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(百万円)



	第116期 2022年2月		第117期 2023年2月		第118期 2024年2月		第119期 2025年2月	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期(予想)
財務関連データ (百万円)								
売上高	1,812	4,039	1,431	3,054	1,716	3,365	1,499	3,780
営業利益	90	240	61	106	105	132	△40	67
経常利益	118	298	92	153	112	136	△31	62
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益又は純損失(△)	86	118	43	△702	59	91	△41	51
総資産	4,552	4,391	3,793	3,445	3,200	3,664	3,229	-
純資産	2,109	2,118	2,162	1,416	1,476	1,520	1,500	-
自己資本(当期)純利益率(ROE)(%)	4.1	5.7	2.0	△39.7	4.0	6.2	2.8	-
自己資本比率(%)	46.3	48.2	57	41.1	46.1	41.2	45.5	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123	217	208	△160	△179	219	△197	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△187	△92	△50	△51	250	186	△12	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	297	98	△376	△383	46	35	△101	-
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	873	1,110	892	515	632	956	644	-
1株当たりデータ (円)								
1株当たり中間(当期)純利益又は純損失(△)	12.18	16.66	6.13	△98.49	8.39	12.78	△5.79	7.15
1株当たり純資産	295.83	297.13	303.26	198.64	207.03	211.67	205.88	-

※2024年5月1日付で過年度決算の遡及訂正を行っており、第116期および第117期までは訂正後の金額を記載しております。

株主の皆様へ

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

一般の商事事業の会計不祥事ならびに元取締役による外注費用の水増・キックバックの不正につきまして、株主の皆様にご迷惑とご心配をお掛けしておりますこと、衷心よりお詫び申し上げます。

当社は、2023年3月30日付で(株)東京証券取引所より、当社株式について特別注意銘柄の指定を受け、ガバナンス・内部管理体制を根本的に整備するための改善措置・再発防止策の実行に取り組んでまいりました。2024年5月24日に、(株)東京証券取引所より改善計画に関し一定の対応が行われていることが認められたものの、内部管理体制に関してさらなる対応を必要とする状況が認められるとして、特別注意銘柄の指定継続がなされました。これを受けて、当社は、改善計画・再発防止策の具体的な内容および実施スケジュール等を見直し、グループ役員一丸となって再発防止・内部管理体制等の改善に向けた取り組みを進め、同年9月30日に内部管理体制確認書を(株)東京証券取引所に再提出し、当該確認書に基づいた審査が実施されています。当社は、引き続きグループ全体にコンプライアンス意識を涵養し、企業文化として定着させてまいります。

当社グループの第119期上半期(2024年3月1日~2024年8月31日)におけるわが国経済は、コロナ禍を乗り越え、インバウンド需要が回復し、経済活動が正常化の過程に入る一方で、円安のさらなる進行や原材料・エネルギー価格の高騰、中国経済の先行き懸念、中東情勢の緊迫化、ロシアのウクライナ侵攻の長期化等、わが国経済を取り巻く世界情勢は依然として予断を許さない状況となっております。

このような状況の下、試験機事業につきましては、各種材料の評価試験、動力・性能試験等の各分野における業界トップレベルの品揃えを強みに、業務提携先の(株)先端力学シミュレーション研究所と連携し、試験データ分析と試験プロセスの効率化・精度の向上といった試験機のデジタル化や、実測データと仮想データをデジタルツイン技術でコラボレーションすること等の提案も行き、自動車、鉄鋼、鉄道、産業機器等のメーカーや各種研究機関、学校、官公庁等幅広いユーザーからご支持をいただくことができました。また、エンジニアリング事業につきましては、公共工事や都市開発を中心にゆるみ止め製品の販売は堅調に推移したものの、エネルギー関係からの受注が落ち込み、売上高・利益ともに減少しました。

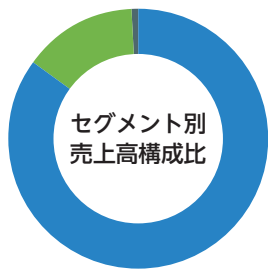
当社は、社会に必要な不可欠な製品・商品・サービスを提供する企業グループとして今後も成長していくために、顧客満足度の向上を目指して製品品質・サービスの向上に取り組むとともに、コア事業の発展が期待できる他社との業務提携や事業シナジー効果が期待できる分野への進出も検討してまいります。

皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 小塚 英一郎

セグメント別の概況



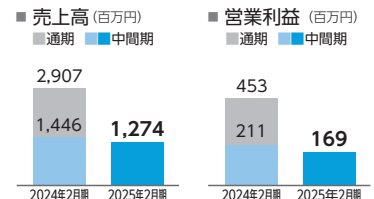
- 試験機事業 85.0%
- エンジニアリング事業 14.3%
- その他 0.7%

1923年創業の伝統と高い技術力を誇る試験機事業をはじめとして、画期的なアイデアで社会に安心と安全を提供しているエンジニアリング事業など、技術と知識で豊かな社会の実現に貢献すべく様々な事業を展開しています。

試験機事業

- 事業内容 試験機・計測機器の開発・設計・生産およびメンテナンス・校正・受託試験サービス
- ビジョン 産業・科学の基盤技術を支える信頼感と存在感のある試験機企業を目指す。

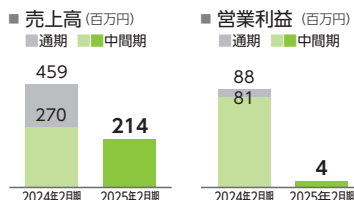
売上高 1,274百万円 営業利益 169百万円



エンジニアリング事業

- 事業内容 ゆるみ止めナット・スプリングの製造・販売、その他建築資材の販売
- ビジョン 社会に安全・安心を提供し豊かな社会の実現に貢献する企業を目指す。

売上高 214百万円 営業利益 4百万円



その他

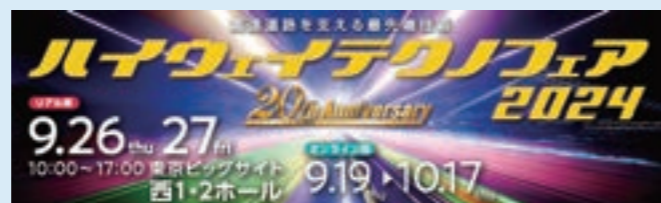
売上高 11百万円 営業利益 11百万円

「ハイウェイクノフェア2024—リアル展」への出展

当社グループの(株)東京衡機エンジニアリングは、2024年9月26日(木)から27日(金)までの2日間、東京ビッグサイトにて開催された公益財団法人高速道路調査会主催の「ハイウェイクノフェア2024—リアル展」に出展いたしました。

ハイウェイクノフェアは、高速道路事業やそれを支える最先端技術を紹介するだけにとどまらず、企業間の情報交換や開発技術等に関する広報の機会を提供し、技術の普及促進を図ることを目的に2004年から開催されています。初回から20周年を迎えた今年はリアル展とオンライン展のハイブリッド開催となり、オンライン展は2024年9月19日(木)から同年10月17日(木)まで開催されました。

ゆるまない技術でゆるぎない未来を。



今回の展示会では、(株)天商様および(株)フタバコーケン様のブースの一部をお借りし、(株)東京衡機エンジニアリングの主力製品であるT-スプリングやスマートハイパーロードナットを紹介いたしました。当日は、大型モニターを用いて通常のシングルナットと当社のゆるみ止めナットを比較した振動試験の動画を上映したほか、実物を直接お客様に触ってもらい、ゆるみ止め性能を実感していただきました。2日間を通じて、ご来訪いただいたお客様に同社製品の特長と性能を十分にお伝えすることができました。

(株)東京衡機エンジニアリングは引き続きより良い製品の開発・販売を行い、展示会等を通じて製品の周知や宣伝を行ってまいります。



展示スペース



社員が製品の説明を行う様子



展示製品



振動試験の動画の内容

Zwick Roell SE社および(株)ツビックローエルとの提携強化

当社グループの(株)東京衡機試験機は、Zwick Roell SE社および同社の日本法人である(株)ツビックローエルとの提携強化を進めています。当社グループの日本市場への優位性とZwick Roell SE社の技術力を活かし、当社の持つ試験機技術をより発展させ、新たな価値を市場に提供していくことができます。

提携強化の一環として、(株)東京衡機試験機は、2024年1月15日に当時の子会社であった(株)東京衡機試験機サービス(現(株)ZR東京衡機サービス)の株式の51%を(株)ツビックローエルに譲渡いたしました。これを受け、3月28日にZwick Roell SE社のCEOであるKlaus Cierocki氏と(株)ツビックローエルの代表取締役社長である山本勝三氏が来社し、当社の代表取締役社長である小塚英一郎と両社の事業推進に関する協議と懇談を行いました。また、さらなる提携関係強化と今後の市場戦略に関する相互理解を

深めるため、9月5日にはアジア部門責任者でシンガポール法人Zwick Roell Pte. LtdのManaging DirectorであるVinay Desai氏とともに、Klaus Cierocki氏が再度来社しました。

2回の会談を通じて、(株)東京衡機試験機とZwick Roell SE社の協力体制をより強固にするための営業体制構築、Zwick Roell SE社のデータソリューション技術、両社の人材交流や研修プログラムの実施、そしてアナログ試験機とCAE(Computer Aided Engineeringの略称で、コンピュータ上で仮想のシミュレーションや解析を行うこと、また、それを実行するソフトウェアのこと)の共同事業等についての意見交換を行いました。

当社グループは今後もZwick Roell SE社および(株)ツビックローエルと緊密に連携し、試験機技術のイノベーションと顧客サービスの向上を目指してまいります。



2024年3月28日の来社の様子
〈左から小塚英一郎、Klaus Cierocki氏、山本勝三氏〉



2024年9月5日の来社の様子
〈左から小塚英一郎、Klaus Cierocki氏、Vinay Desai氏、山本勝三氏〉

株式情報 (2024年8月31日現在)

株式の概況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数*	7,133,791株
株主数	3,319名

*上記の発行済株式の総数には、自己株式2,905株を含みます。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
Dream Bridge株式会社	21,401	29.99%
山下 秀子	2,344	3.28%
スマート株式会社	1,670	2.34%
長崎 裕太	1,656	2.32%
株式会社SBI証券	1,295	1.81%
池上 道弘	1,068	1.49%
岡崎 由雄	1,050	1.47%
孫 国慶	800	1.12%
浅野 利弘	761	1.06%
張 正達	681	0.95%

*持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式 (2,905株) を控除しております。

株式の分布状況



■ 事業法人等	24,162百株	33.87%	■ 1単元未満	246名	7.41%
■ 個人・その他	43,753百株	61.33%	■ 1単元以上	1,838名	55.39%
■ 金融機関	75百株	0.11%	■ 5単元以上	403名	12.14%
■ 証券会社	2,422百株	3.40%	■ 10単元以上	638名	19.22%
■ 外国法人等	894百株	1.25%	■ 50単元以上	106名	3.19%
■ 自己名義株式	29百株	0.04%	■ 100単元以上	88名	2.65%
合計	71,337百株	100%	合計	3,319名	100%

株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1番1号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法	電子公告 (掲載URL https://www.tksnet.co.jp/) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意)
- 株主様の住所変更、単元未満株式買取・買増請求その他の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
 - 特別口座に登録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行株式会社) にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

株式会社 **東京衡機**
TOKYOKOKI CO. LTD.

〒252-0151 神奈川県相模原市緑区三井315番地
TEL 042-780-1650 FAX 042-784-6094

ホームページのご案内

IR情報や決算情報をはじめ、最新の事業動向をご覧ください。

<https://www.tksnet.co.jp/>



会社概要 (2024年8月31日現在)

商号	株式会社東京衡機
本社	東京都渋谷区桜丘町22番14号N.E.SビルN棟5階
本店 (登記上)	神奈川県相模原市緑区三井315番地
創立	1923年 (大正12年) 3月20日
資本金	5億円
従業員数	18名 (連結123名)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● 東京衡機グループの経営戦略の立案・遂行● グループ子会社の統括管理およびサポート 【グループの事業内容】 <ul style="list-style-type: none">● 試験・計測機器および関連機器の製造・販売ならびに修理・メンテナンス、校正、受託試験その他の付帯サービス● ゆるみ止めナット、ゆるみ止めスプリング、特殊ばね、ボルトその他の締結部材の製造・販売、各種サービス

役員等 (2024年8月31日現在)

代表取締役社長	小塚 英一郎
取締役 管理担当	伊集院 功
取締役 事業推進担当	鈴木 妥
社外取締役 監査等委員 (常勤)	渡辺 樹一
社外取締役 監査等委員 (弁護士)	松野 絵里子
社外取締役 監査等委員 (弁護士)	西谷 敦
社外取締役 監査等委員 (公認会計士、税理士)	中野 陽介
会計監査人	監査法人アリア

事業拠点

子会社	
株式会社東京衡機試験機	
東京支店	東京都渋谷区桜丘町22番14号N.E.SビルN棟5階
相模原工場	神奈川県相模原市緑区三井315番地
豊橋工場・中部支店	愛知県豊橋市北島町字北島202番地
大阪支店	大阪市淀川区宮原4丁目3番7号MPR新大阪ビル6階604
株式会社東京衡機エンジニアリング	
本店	神奈川県相模原市緑区三井315番地
東京事務所	東京都渋谷区桜丘町22番14号N.E.SビルN棟5階
関連会社	
株式会社ZR東京衡機サービス (旧社名: 株式会社東京衡機試験機サービス)	
本店・本社	神奈川県相模原市緑区三井315番地
西日本営業所	大阪市淀川区宮原4丁目3番7号MPR新大阪ビル6階604



環境保全のため、FSC® 認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。